

授業科目名 <英訳>	考古学(特殊講義) Archaeology (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 教授 岡村 秀典					
配当 学年	全回生	単位数	2	開講年度・ 開講期	2015・ 後期	曜時限	月2	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目	後漢鏡の研究										
【授業の概要・目的】											
西暦2世紀の後漢鏡について、銘文に記された作鏡者名を手がかりに、図像紋様と銘文の変遷を考え、さらに民間工房における芸術性の萌芽と作鏡活動の実態を明らかにすることによって、人文学としての考古学研究について理解を深める。											
【到達目標】											
漢代の銅鏡は、日本の弥生・古墳時代の遺跡（墳墓を含む）から多数出土し、特に後漢鏡は古墳出現期において重要な役割をもっていたから、広く東アジア的視点から倭国の形成史が俯瞰できるようになる。											
【授業計画と内容】											
後漢鏡を対象に、以下の内容について講述する。 明帝・章帝期における淮派の成立 章帝期における呉派の成立 盤龍鏡と画像鏡の編年 2世紀における広漢派の出現 2世紀から3世紀における神獸鏡の編年 徐州系における淮派と徐派											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
定期試験（筆記）											
【教科書】											
使用しない											
【参考書等】											
（参考書）											
【授業外学習（予習・復習）等】											
日頃から博物館に陳列されている鏡をみしておくこと。また、歴史だけでなく、思想文化にも関心をもち、異文化に対する理解を深めておくこと。											
（その他（オフィスアワー等））											
オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。											